

令和元年度 東近江市市民協働推進委員会

第1回池庄町自治会訪問報告

- ◆開催日時 令和元年8月8日（木）19：30～21：30
- ◆開催場所 池庄草の根公民館
- ◆出席者 池庄町自治会 役員4名
協働推進委員 5名
事務局 1名
- ◆協議内容 「池庄町自治会の概要、現状、課題と意見交換」

【内容要旨】

(委員) 池庄町自治会は、自分たちのことを自分たちで考えられるのがすばらしく、助け合いの精神がある。大きな神社があり、自治会としてまとまっている印象がある。

(自治会) 年に一度の大きな行事だから多くの人によって運営していく。自治会に入らないという人はない。神社を崇拝する気持ちで持っている。生活様式が多様になると今後の運営が心配である。

(事務局) 年末年始の行事が一番大きいのか。

(自治会) 大祭（1/18.19.20）が一番大きい行事。

(事務局) H28の見直しで、神社の運営に対する意見はあったのか。

(自治会) 声があれば見直す機会となった。奉仕の気持ちで運営されている。自治会の運営もできないとなればできない理由を議論して改善していく必要がある。

(委員) 高齢の住民へは、免責があるのか。

(自治会) 80歳以上が対象で、夜回りが無い。夜回りは自治会が行っている。

(委員) 自治会役員、氏子等の仕事の見える化ができると、後任者も不安がなくなり取り組みやすくなる。やってみると楽しい部分もある。見える化できるとまわりの見方、姿勢も変わってくるのでは。

(自治会) 自治会に入らない人はいないということで、その次の段階を考えていければよいように感じた。

(委員) 自治会役員の選出を選挙とされているが、賛否あるか。

(自治会) 昔から選挙のため、断れない雰囲気がある。現役世代への負担軽減を考えていかないといけない。

(委員) 役員任期は1年間か。

(自治会) 基本的に1年。自治会長は、副自治会長が引き継ぐ。

(委員) 自治会長の仕事の軽減について、公民館長を新設され現在見直しをされているが、その内容を教えてほしい。

(自治会) まちづくり目標のBチームの取り組みの中で、役員負担軽減の中で出てきた。手当12万円払うのだが、思った成果が出なかった。週1回、土曜日の半日3時間の業務。

(委員) 資料の中に、自治会長として年間120日活動しているとあり、年間の法定休日とほぼ同じ日数のため、負担の大きさを感じる。

(自治会) 複数の業務をいっしょにすることで効率化は図れる。

(委員) どういう自治会であれば、継続してみんなが参加してもらえるか考えている。地域の

子どもにとっても小さな時から、自治会はたいへんだと言うと、マイナスイメージを持ちながら育つ。地域、家庭での教育も必要だと私の地元では考えている。

(自治会) 逆の発想として、自治会の楽しい部分も発信していくことも必要だ。

(委員) 東北の震災があったときも、自治会の必要性が改めて見直された。なぜみんな自治会に入るのか、理由を理解すると変わっていくのではないか。

(自治会) 一つは災害への対応がある。湖東地区は危機感が薄いことから、自治会で助け合うという意識が低い。どういうしかけがあるか教えてほしい。

(委員) 地元で、安否確認訓練を行ったことをきっかけにより、よい自治会とはという肯定的な意見を踏まえた検討を行っている。

(委員) かまどベンチを作った資材を使って、ピザ釜を作り、年に1回防災訓練といっしょにピザパーティを行っている。大変だが楽しく行っている。

(自治会) これからの一番の課題としては、年配者への取り組み方があるが、より良い意見があれば教えてもらいたい。

(委員) 御園では、おしゃべり喫茶など居場所づくりを行い、好評である。

(自治会) 社協では買い物支援を行っている。

(委員) 島根県の雲南市では、何かあれば助け合えるよう若者と年配者がバディを組んでいる自治会があり、交流も深まったと聞く。

(自治会) 昨年度から行っているCチームのわくわく交流会では、人集めに不安がある。役員などは、役があたっているからと行くが、みんな集まって何かしようとする雰囲気作りをどうしていくか、自主性をどう育てていくかが課題。

【今後の予定】

下記部会別の会議に分かれて出席

「まちづくりの目標」

○Aチーム『若い世代の増加策と空家の活用』

→①空家・空地対策の具体化に向けた検討、②池庄町の魅力発信

○Cチーム『活気に満ちたまちづくり』

→①ふれあい交流会の推進：「わくわく交流会」

②出前講座等の活用による生き生き暮らせるまちづくり推進